

覚え書き

ドクター ポーリングの勧めにより、タイさんと私は精神病に関する知識を更に得る為に、クイーンズ メディカルセンターの手伝い、ボランティアとして週一回働く事になった。精神科社会奉仕員が、参禅中精神異常の発作を起こし、その結果入院することになった二人の僧伽メンバーの女性 ■■■■ と ■■■■ のケースにタイさんの名前を認めた。この偶然の符合がドクターのもとへ報告され、多分タイさんはこの病院を訪れた際、精神不安定な女性のため祈願を行いたかったのであろうと推量した。ドクター ポーリングはこのケースを調査した結果、タイさんがこの二人の女性とどのような関係にあるかと言う事情を私に報告した。

そこで直ちに私もこれを調査、タイさんには確かにそのような行動があり、更に、女性に対して残酷な利己利用が行われていたことが判明した。私がもし彼の面前で是等の証拠を提示し対決する手段を取るならば、多分彼は全面的に否定するであろうし、僧伽のメンバーの大半は彼を支持するのではないかと思われた。又それ以上に、二人の女性の立場が心配であった。そこで私は宋淵老師と安谷老師とに相談するため、日本へ旅立つ決心をした。私は旅館に泊まって、この両師と内密に面談する予定であったが、宋淵老師は私を空港まで出迎え、龍沢寺へ同行することを主張した。中川、安谷両老師共にタイさんは恋愛を漁っているのであろうという事は理解出来るようであったが、実はタイさんは、自分でも制御の出来ない病的強制力によるものである事までは理解しないのであった。